

2008 年度第 2 回 L - ラーニング学習支援システム研究分科会記録

日時 2008 年 6 月 24 日 (火) 13:00-18:00

場所 東京歯科大学 (水道橋キャンパス)

出席者 阿部 (東京歯科大学)、金子 (早稲田大学)、小田切 (麻布大学)、南雲 (国際大学)、
田代 (日本女子大学 記録)

1. 事務連絡

私立大学図書館協会よりアンケート発送に関する特別助成金の交付許可をとった。
今年度も 夏合宿は行わず、代わりに 1 日の例会とする。

2. リポジットに関するアンケートについて

(1) 前回の案について

大学図書館員のためのリポジットに協力することを喚起するようなアンケートにしたいと考えて案を立てた。アンケート結果を分析して論を立てるまでは考えていなかった。分析をするか？設問や選択肢をどうするか？

< 結論 >

・リポジットそのものについての意識調査と当分科会リポジットへの参加可否調査を行う。回収後、分析をする。

(2) アンケートの内容の見直し

大学図書館員のためのリポジットに協力いただけるかどうかのアンケートと同一の流れでは、アンケート自体が何を聞こうとしているのかの論点が 2 点あって鮮明でない。意識調査 1 ページ分、参加可否調査 1 ページ分に分ける。

分析をするのであれば、何をどう分析するか分析できそうか？

設問と選択肢を工夫する。

< 結論 >

・機関リポジットをすでに行っているかどうかでその後の回答や協力の可否が分かれるという仮説のもと、今回協議した設問・選択肢 (別メモあり) をリポジットについてのアンケートとして配布できるよう書式を整える。(担当 田代)

・リポジットへの参加可否調査も、今回協議した設問・選択肢 (別メモあり) をアンケートとして配布できるよう書式を整える。(担当 南雲)

・大学図書館員のためのリポジットの運用説明文を作成する。(担当 阿部)

送付文書両面印刷にする。1 ページ目 : かがみ (回答依頼挨拶文) (私大図の文書番号を入れる。返答期限は 7 月 31 日とする。) 2 ページ目 : 運用説明、3 ページ目 : リポジット意識調査、4 ページ目 : 参加可否調査とする。返信は 3・4 ページの 1 枚を、同封する封筒で郵送していただく。

3.XooNips について

(1)主な導入例について

開発は理化学研究所。主な導入例は慶応義塾大学の『KOARA』。

(2)運用方針について

公開について印刷 改変の制限をかけたい場合はアイテムタイプを presentation にするか、コメント欄 1 行目に明記する。

印刷やファイル保存の制限は PDF 作成時に細工するよう示しておく。

運用方針を載せたページが必要。

FAQ機能あるので使う

(3)今回持ち寄ったファイルの入力作業

気づいた点、初めて入力する際に欲しい説明をFAQのページに入れる。

4.次回について

次回日程候補 :7 月 8 日 (火)13:30 - 18:00 東京歯科大学水道橋キャンパス

なるべく今週中にアンケート文面を各担当が作成。

当日までの準備

発送文書作成 :小田切、南雲、田代

発送文書両面印刷して持参 :金子

のり付き封筒 (大学名入り) 発送用 (返信用) 阿部

宛名シール (往復分) :小田切

別納できるかは郵便局に確認 :阿倍

次回は最初に発送作業をする。

以上